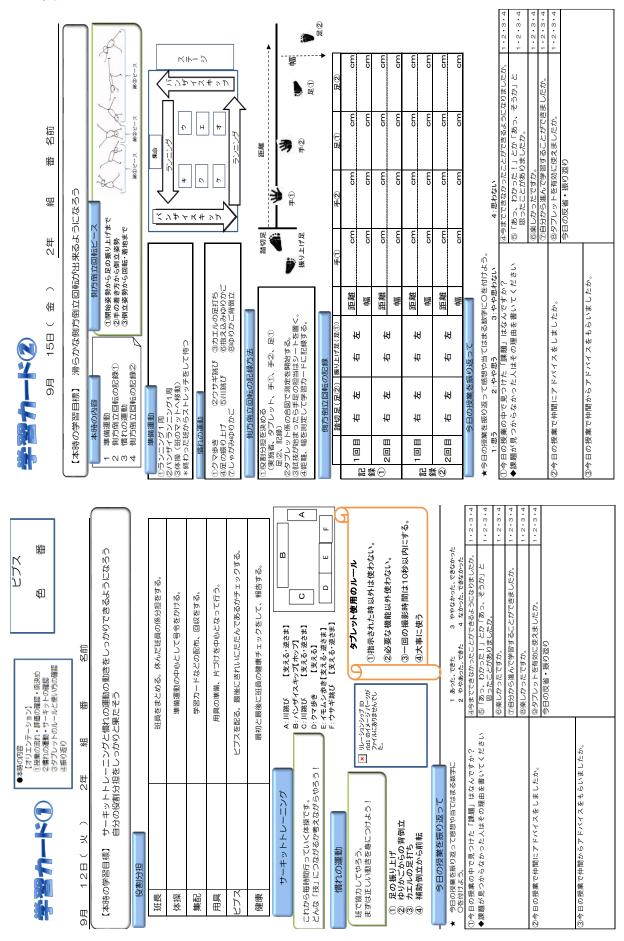
1 学習指導の工夫とその効果および課題

本研究における学習指導の工夫と、その効果及び課題について整理してまとめ。

手5	立て	内容
慣れの	工夫とその効果	知識と関連付けるための基礎的感覚を体験できる運動経験として、側方倒立回転の土台となる動きを授業の導入の時間に継続して行った。比較的単純な運動だが、動き方のポイントを見付けられるように指導していく中で、体を支持しながら腰を高く保つことや、目線、着手の仕方、リズムをつかむなどの動きを習得することができた。また、その動きを基に教え合いを通して、腰角増大の操作が身に付いていく姿が見られ、側方倒立回転の習得につながった。
運動	課題	系統的な指導が足らず、その時間に指導する内容にとどまってしまっていたため、慣れの運動を次の段階にスムーズにつなげられていない生徒が見られた。教え合いの中でも、今回ねらいとしていた比較し、判断することはできていたが、次の動きにつながるような指摘をする姿が見られるように工夫していくことが今後の課題であった。
倒立姿勢の対	工夫とその効果	側方倒立回転の回転時に、正しい倒立姿勢を経過していない生徒が多く、出来映えを高めるために、手の着き方や目線など、慣れの運動と関連付けて発展させた動きとして指導を行った。段階的に達成感を味わえるため、生徒の意欲を高めることや恐怖心をもっている生徒に対して有効であった。
練習	課題	背中側に倒れる恐怖心をもっている生徒もいたためエバーマットなどを活用することや安全に補助ができる指導が必要であった。
場の工夫	工夫とその効果	教え合いの活動で仲間から指摘されることで、個人の達成度を把握して、局面別の場の活動が明確になったことで積極的に取り組む姿が見られた。また、同じ局面について学習する生徒が集まるため、自分の運動感覚を伝えることなどを通して、理解を一層深めることができた。段階的な達成度を設定したことにより、できる楽しさや喜びを味わえている様子も感じられた。
	課題	達成度に合わせた活動ができていない生徒もいたため、個人の達成度と局面別の 場のねらいの関わりをもっと明確に示し、指導する必要があった。
用具の工夫	工夫とその効果	「撮影動画」などの理解を促す教具の効果を高めるための補助的なものとして、 用具を工夫し、活用した。 視覚的に分かりやすくするための工夫として、「手型足型シート」や「マットの ライン」を活用した。手足の間隔を計測したり、ずれを計測したりすることによっ て、「撮影動画」などの教具では把握が難しいことが分かり、局面別の場で数値と 撮影動画を組み合わせて比較するなどの教え合いを深めることができた。 動きの習得につまずきの見られる生徒が運動感覚を身に付ける工夫として、「川 跳び台」や「サークルライン」を活用した。川跳び台は、動きの習得には大きな個 人差があり、できるだけ多くの習得段階に対応できるように2段目の高さの跳び箱 に固定できる用具を作成したことで、逆さ感覚に恐怖心をもっている生徒も安心し て取り組めていた。また、「サークルライン」は倒立姿勢が身に付いていない生徒 でも側方倒立回転のリズムをつかむことができた。
	課題	視覚的にわかりやすくしたことで、目標となる利点もあったが、数値などを意識 しすぎてしまい、動きのタイミングなどを崩してしまうことがあった。また、用具 の入れ換えや試技する人数が限られることなど、効率よく活用できる工夫を今後も 考えていく必要がある。

2 学習カード





9月 19日(火)

番 名前 盤 2年

倒立姿勢のポイントを理解して出来るようになろう。 【本時の学習目標】



正しい手の着き方はどれですか?

٨

۲

٥





Λ

側方倒立回転ピース毎の評価

・着地まで	ステップ3	#
③倒立姿勢後から回転・着地まで	テップ1 ステップ2 ステップ3 ステップ1 ステップ2 ステップ3 ステップ1 ステップ2 ステップ3	足の後地 順序やリ ズムが正 しくでき た
③倒立姿勢	ステップ1	足の表で 着地がで きていた
*	2ステップ3	回転 日間 日間 日間 日間 日間 日間 日間 ない 日間 ない 日間 おい 単い はまな しっか まな しっかい 申ば りょう アン・サード ない ちょう
②倒立姿勢	ステップ	回 ボート (本年 は 中 (ロ に か な な な な か な な な な な な な な な な な な な
	ステップ	回 に で で で で で で で で で で で で で が が り で が が り で が り で を が り で が で が で が で で で で で で で で で で で で
り上げまで	ステップの	キら 後 巻 を かん か 後 職 職 争 かん か 悪 職 か か が 間 か か 見 か り り か り り り り り り り り り り り り り
①開始姿勢から足の振り上げまで	ステップ2	後 る を を を を を が を た た り も く を る が を が を が が が が が が が た が た が た が た が た
(1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	ステップ1	機 多ろ足を り上げる ことがで きた
ピース	南南	粉糊
	I	侧方倒立回転

今日の授業を振り返って

★今日の授業を振り返って感想や当てはまる数字に○を付けよう。 1:思う 2:やや思う 3:やや思わない

①今日の授業の中で見つけた「課題」はなんですか?	④今までできなかったことができるようになりましたか。 1・2・3・4	1.2.3.4
▶ 課題が見つからなかった人はその理由を書いてください	⑤「あっ、わかった!」とか「あっ、そうか」と 思ったことがありましたか。	1.2.3.4
	⑥楽しかったですか。	1.2.3.4
	⑦自分から進んで学習することができましたか。	1.2.3.4
②今日の授業で仲間にアドバイスをしましたか。	⑧タブレットを有効に使えましたか。	1.2.3.4
	今日の反省・振り返り	
3)今日の授業で仲間からアドバイスをもらいましたか。		

笳 2年

加雪

細

後転のそれぞれのピースのポイントや課題を考えよう 側方倒立回転ピース

①準備運動、ランニング ②慣れの運動 ③側方倒立回転の練習 ④振り返り

【本時の学習目標】

①開始姿勢から 足の振り上げまで ②倒立姿勢 ③倒立姿勢から 回転・着地まで

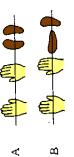
第のアース

側方倒立回転パース毎の評価

・着地まで	ステップ3	# R A A A A A A A A A A A A A A A A A A
③倒立姿勢後から回転・着地まで	ステップ1 ステップ2 ステップ3 ステップ1 ステップ2 ステップ3 ステップ1 ステップ2 ステップ3	足順の 発を下が になない でしくし
砂田立教	ステップ1	足の様で 着地がで きていた
	ステップ3	国 正線 かまかい 中に 日に 日に 日に 日に 日に 日に 日に 日 子 でった できる すった キャック キャック キャック キャック キャック はいい アメート グルング
②倒立姿勢	ステップ2	回 田 記 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日
	ステップ1	回版 に を を で で で で で で で で で で で で で で で で で
り上げまで	ステップ3	木らををあったりの後 腰 高もげり後 腰 高らなり おっぱい ちょうじょうしょうしょうしょうしょうしょうしょう たんりょう ちょうかい はいまい おいいき はいまい はいまい はいまい はいまい はいまい はいまい はいまい は
①開始姿勢から足の振り上げまで	ステップ2	後 腰 高 でんりゅう 乗 かいまん 乗った みっかい 乗った ないりゅう しゅうしょう
①開始後(ステップ1	後 服 り り 上 は を か た な た な た た な た な た い た い た い い た い な る た な る た な る た な る た な る た な る た な る た な た な
ピース	車車	榖桷
	I	舍 七倒立回版

立ち上がる時、A、Bどちらの足型がよいですか。

あなたの今のピース①のステップは?



あなたの今のピース②のステップは? あなたの今のピース③のステップは?

今日の授業を振り返って

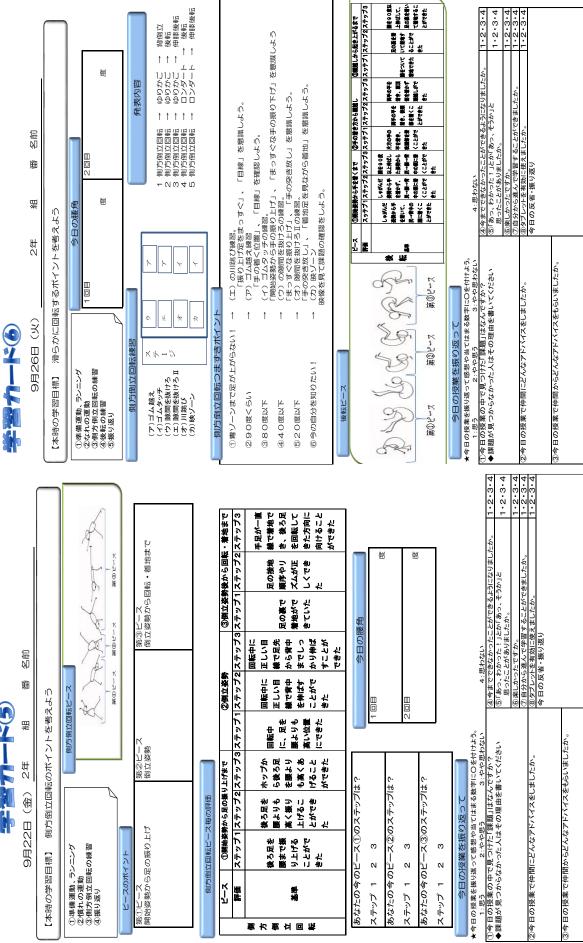
★今日の授業を振り返って感想や当てはまる数字に○を付けよう。 . ⊞.

今のあなたのピース②のステップは?

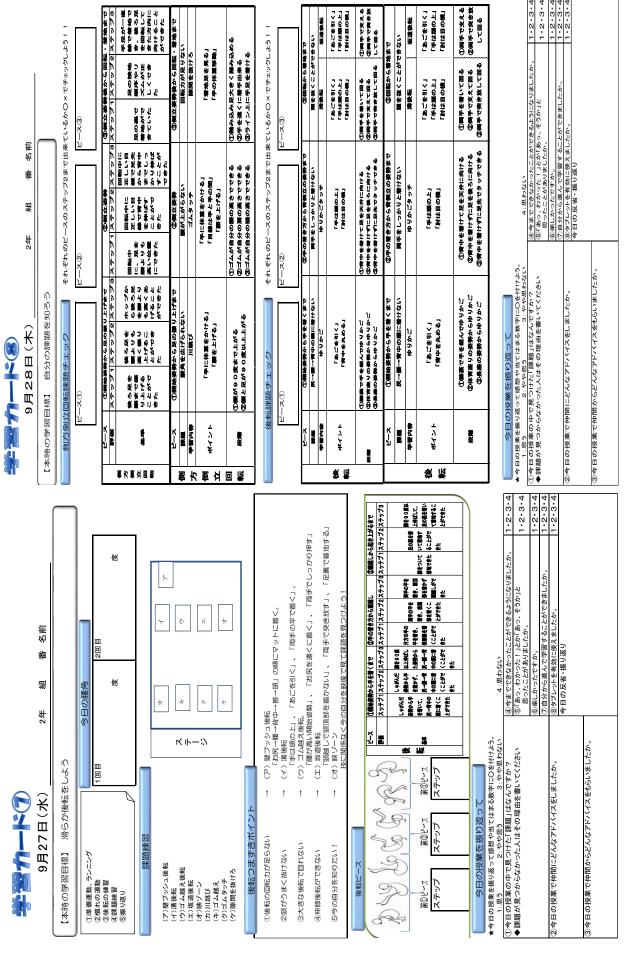
1: 思う 2: やや思う 3: やや思わない	4: 思わない	
①今日の授業の中で見つけた「課題」はなんですか?	④今までできなかったことができるようになりましたか。	1.2.3.4
⇒課題が見つからなかった人はその理由を書いてください	⑤「あっ、わかった!」とか「あっ、そうか」と 思ったことがありましたか。	1.2.3.4
	⑥楽しかったですか。	1.2.3.4
	①自分から進んで学習することができましたか。	1.2.3.4
②今日の授業で仲間にどんなアドバイスをしましたか。	⑧タブレットを有効に使えましたか。	1.2.3.4
	今日の反省・振り返り	
	<u> </u>	

③今日の授業で仲間からどんなアドバイスをもらいましたか。





事件のの模型 上書店して、 用の資本券に て業者するこ とができた



学習カードの

番 名削 盤 2年 10月2日(月)

今できる技を発展させて、発表ができるようにしよう。 【本時の学習目標】

発表の技の順番

- ○『はじめ→なか→終わり』で演技を構成します。
- 〇発表は初めに右手を挙げて開始します。発表の終了は、最後の技が終わり、止まってから) 手を挙げて、発表終了です。
 - ○技は完成していなくても、取り組んでいる途中のできる技で構いません。

ことという	終わり	後転 しゃがみ伸膝後転 伸膝後転
XX		1
そっていまくには、気が高さらいであるようにのもなりにあられる。	なか	川跳び両足着地 ロンダート
		1
Ϋ́		
101/611/08	はじめ	側方倒立回転

一	回の授業で『後	配』 について取り #	町回の授業で『後転』について取り組んだ学習内容をOで囲みましょう。	みましょう。
	前回の学習内容	今日の学習内容	気を付けるポイント	段階的な動き(①から挑戦!)
	ゆりかご	ゴムタッチ溝後転	A:手は頭の上に準備	①両手を着いて、後頭部・肩で支える
	ゆりかごタッチ		B: 肘は関かないように、	②両手を着いて、足先でタッチする
			ずっと目の横	③両手を着いて、回る
	清後転	ゴムタッ千溝後転	A: 両手で突き放す	①両手をついて回る
		ゴムタッチ後転	B:回転中に足を振り上	B:回転中に足を振り上。②自分のへその高さのゴムにタッチ
			げ、腰を引き上げる	して回る
			C:頭の近くに着地する	③自分の肩の高さのゴムにタッチし
				202
	坂道後転	三階び→後転	A:川跳びの着地の勢いの	A:川跳びの着地の勢いの ①川跳びから尻→背中を着ける
			まま、背中側へ倒れる	まま、背中側へ倒れる(②川跳びからゆのかごタッチ
			B:III 跳びで着描したらす	③川跳びから後転
			くに手を頭の上に準備	

今日の課題練習の流れです!

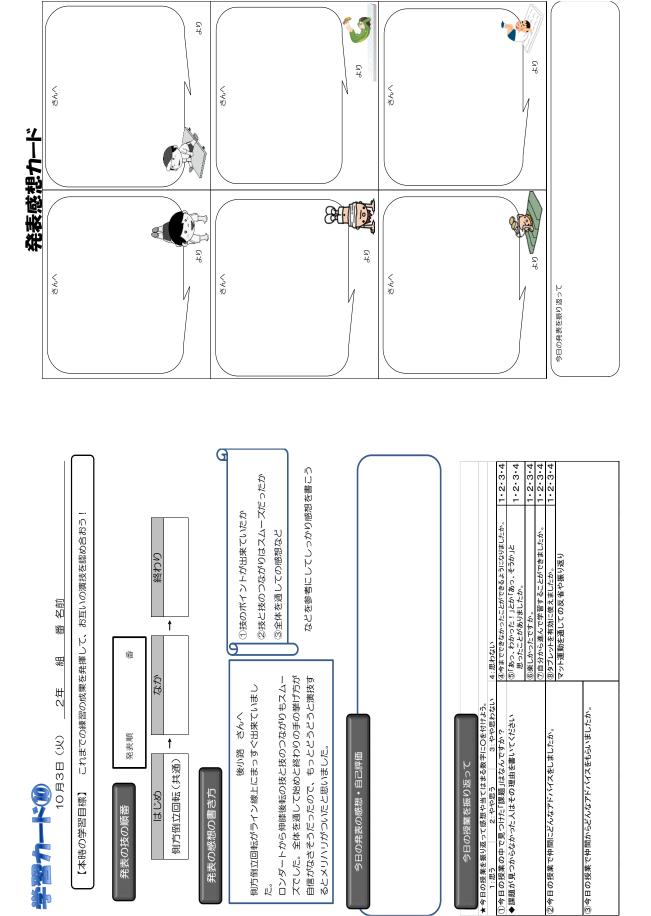
- 〇『側方倒立回転』『後転技』『発表練習』を行います。技は完成していなくても、できている もので構いません。つなぎの練習や発表練習を積極的に行いましょう。
- 〇前回の学習カードの評価表やチェックカードを使って、仲間に見てもらい、声を掛けあって 〇技のポイントを確認して、段階的な動きに挑戦してみましょう。
- 〇タブレットで撮影した映像を見るときは、チェックカードの画像と比較して、出来映えや違 いを確認しましょう。

進めていきましょう。

- 〇タブレットの見本動画を見て、動きのタイミングや手の着き方など、技のポイントを発見し ましょう。
 - ○課題練習後に発表練習の時間があります。必ず、今日の発表の内容を決めておきましょう。

今日の授業を振り返って

_	★今日の授業を振り返って感想や当てはまる数字に○を付けよう。		
_	1: 思う 2: やや思う 3: やや思わない	4:思わない	
1	①今日の授業の中で見つけた「課題」はなんですか?	①今までできなかったことができるようになりましたか。	1.2.3.4
H	◆課題が見つからなかった人はその理由を書いてください	⑤「あっ、わかった!」とか「あっ、そうか」と 思ったことがありましたか。	1.2.3.4
∄		⑥楽しかったですか。	1.2.3.4
		①自分から進んで学習することができましたか。	1.2.3.4
	②今日の授業で仲間にどんなアドバイスをしましたか。	8タブレットを有効に使えましたか。	1.2.3.4
		マット運動を通しての反省や振り返り	
	③今日の授業で仲間からどんなアドバイスをもらいましたか。		
1/0			



ťζ